



日山忠郎議員

福祉行政

生活習慣病の予防と対策

食生活の見直しと適度な運動

度の運動などを実践することが重要である。元気高齢者対策としては、老人クラブのスポー

ツ活動支援、高齢者大学などの生涯学習及び健康教室などを通して健康づくりに努めたい。

質問

厚生労働省は増えるための医療費の伸びを抑えるため、高齢者を中心とした患者の負担増や生活習慣病の予防などを実施することを公表した。

ついては、次の点を問う。

①年金控除が少なくなることに伴い、国保税が増えるが、保険税の納入や資格証明書の発行に影響は出てこないか。

②生活習慣病予防や元気高齢者対策は今後どのように進めて行くか。

沼崎町長

①厚生労働省では、関係省庁に対し、税負担の激変緩和、課税限度額・軽減基準額の見直しを要望しており、今後の動向を見守りたい。

滞納者の収納対策としては、納税相談の機会を増やし、分割納付も勧めていきたい。

②疾病の早期発見、早期治療、食生活の見直し、適



健康で元気な高齢者を増やすことを目的に、体力づくりを図る運動教室が行われています（「シャキシャキ倶楽部」活動の様子）

町の考えを聞く

まちづくり

「まちづくり交付金」で商店街活性化

商工会の取り組みを見守りたい



町商工会主催で行われた「大試食祭」。地元食材を使った料理に多くの家族連れでにぎわいました

質問

山田病院移転後の商店街の活性化に向け、国土交通省が創設した「まちづくり交付金」の活用はできないか。

沼崎町長

この事業は、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための事業で、どのようなまちづくりをするのか三つ以上の事業を組み合わせた整備計画を作成しなければならぬ。提案の、中心商店街の活性化についての一事業のみへの活用と

なると難しい交付金である。

また、まちづくりの必要性という点から地区の位置付けが最も高く、地元商店街の熱意や商業団体の積極的な取り組みが必要となる。

町としては、商工会の今年度事業計画の中で示している地域振興課題の取り組み、意見活動の展開と振興発展のため「街づくり委員会（仮称）」を組織し商店街の方向性を決定したいとのことであり、その動向を見守っていききたい。